

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	強相関物質設計と機能開拓 ―非平衡系・非周期系への挑戦―
研究代表者	今田 正俊（東京大学・大学院工学系研究科・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究は、強相関電子系が非平衡あるいは非周期的な環境で示す性質を系統的な手法を用いて解明するとともに、その成果を物質設計に応用して高効率太陽電池実現のための機構解明などを目指す意欲的な目標を掲げている。応募者は強相関電子系の数値的研究で世界をリードする成果を積み重ねてきており、独自に開発した手法を非平衡、非周期系に適用可能な形で更に発展させて幅広く応用するという計画は、優れた若手研究者の結集もあり十分達成が見込まれる。</p> <p>以上の理由から、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p> <p>研究遂行に当たっては、他の研究資金との区分を明確にし、それぞれの目的に適合した経費支出を心がけることが望まれる。</p>